



思いつくまま 71  
気のむくまま

…ドクター内田のひとりごと…



## 大根役者ならぬ、大根医者？

2023年が明けて、あっという間に3月。皆様いかがお過ごしでしょうか。

先月号で私がコロナにかかった話を掲載したことで多くの方からねぎらいの言葉をいただきました。ありがとうございます。実際にコロナになったのは昨年のお話です。数日で症状も改善しましたので今は全く問題ありません。すっかり元気になっているのに、皆様からの声掛けで益々の元気をもらいました。あらためて言葉が人を元気にすることを実感したことでした。今後も私から皆様にいい言葉をかけられるよう頑張ります。

とはいつてもこの3月は別れの月であり、新たな飛躍の月でもあります。進学や卒業、退職を迎える方、転職や異動をする方にとっては、いろんな思いがあるでしょう。一方でなあんにも変わらない人もいるかもしれません。それでも時間は同じように流れています。

そんな春ですが、そろそろ畑が始まるという方も多いでしょう。そういえば以前、ある患者さんと大根の話で盛り上がったので、今回は大根のお話をします。

皆さんは大根料理、何が好きですか？この大根、ご存じのように煮てよし、炒めてよし、焼いてよし、漬けてよし、おろしてよし、干してよし、生でよし、添えてよし、あえてよし…。あらゆる料理法があります。さらにその味わいは、甘みがあってみずみずしくて時に辛い。こんなにバラエティーに富む食材は他にあるでしょうか。しかもいつも大体わき役。色も真っ白で、どんな色にも染まる。あなた色に染めることができるこの大根って、なんだかいいと思いませんか？

話は変わりますが、皆様は総合診療医ってご存じでしょうか。当院は総合診療科(内科、外科)という科を標榜しており、当院の内科医はみな総合診療医です。総合診療科は、わかりやすく

言うと「なんでも屋」です。産婦人科や整形外科、皮膚科、眼科などの専門性はありませんが、困っている方がいれば何でも診ます。一時的な救急処置をし、訪問診療もします。塗り薬や目薬も出しますし、時に傷を縫うこともあります。医師によっては胃カメラや大腸カメラもしますし、緩和ケアに力を入れていることもあります。もちろん特殊なケースは専門医に紹介します。治療だけでなく予防の視点も持ち合わせています。健康を維持する医療を担っているといってもいいでしょう。

当院の総合診療科のみならず、多くの開業医の先生はその役割を担っています。なんとこの総合診療医が多いほど、健康寿命の延伸につながり、医療費の削減にもつながるというデータもあるようです。

そんな総合診療医、なんだか大根と似ていると思うのは私だけでしょうか。いろんな状況に対応し、主役の患者さんであるあなたを支える。決して総合診療医が大根医者だと言っているわけではありませんが、なんだかいい意味でほっこりしていただける気がするんです。「私の主治医は総合診療医よ」という方が増えてくればいいのかな、なんて妄想してしまいます。

人生の唯一の意義は、人のために生きることである。

(トルストイ:ロシアの小説家、思想家)

人々は悲しみを分かち合ってくれる友達さえいれば、悲しみを和らげられる。

(シェイクスピア:英国の劇作家、詩人)

出会いと別れの時期です。季節の変わり目は体調を崩しやすいともいわれます。どうぞ無理せず、今月もよろしくお祈りします。

うちだ のぞむ  
院長 内田 望

## 外来からのお知らせ

休診 (令和5年2月13日現在)

3月30日(木)総合診療科 萩原先生

最新の休診情報は、町立病院のホームページ「診療日カレンダー」でお知らせしています。

※休日急患当番医は次のページをご覧ください。



### 発熱外来

発熱や咳など呼吸器症状等のある人は発熱外来で対応します。必ず、事前にお電話(☎75-2332)いただき受診方法をご確認ください。

対応時間 ● 13:30~(受付時間:8:30~14:00)

〈お子さんをお持ちの人へ〉

小児については、小児科医による診察が望ましく、かかりつけ小児医療機関や埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター

☎0570-783-770(24時間対応)に電話などでご相談ください。